

## 『JVA 2019 年上半期(1 月～6 月) 統計調査結果』について

当協会はこのたび、2019 年上半期(1 月～6 月)の JVA 会員メーカーのビデオソフト出荷統計をまとめましたので、その概要につきお知らせいたします。

なお、本調査の結果は『日本映像ソフト協会統計調査報告書 Vol.88』として冊子にまとめ、一般の方にも有料にて頒布しております。

本件のお問い合わせにつきましては、広報課倉橋(03-3542-4433)まで、または、協会ホームページの「お問い合わせ」にアクセスしてください。

以 上

## 2019 年上半期（1 月～6 月）統計調査結果について

1. 今期のビデオソフトの総売上金額は 775 億 7600 万円で前年同期比 90.3%だった。  
そのうち、DVD ビデオは 369 億 5400 万円で前年同期比 81.8%、ブルーレイ (Ultra HD Blu-ray を含む。以下、ブルーレイと表記。) は 406 億 2200 万円で同 99.8%となった。ブルーレイは前年同期並みとなったが、DVD は 2 割近く減じておりビデオソフト全体の前年同期比割れに大きく影響した。売上金額に占める DVD ビデオとブルーレイの割合は 47.6 対 52.4 となり、総売上において初めてブルーレイが DVD を上回った。  
＜添付資料 表 1＞
2. ビデオソフト全体 (DVD ビデオとブルーレイの合計) の売上金額を販売用、レンタル店用の市場別にみると、販売用が 619 億 3200 万円で前年同期に比べ 8.5%の減少だったが、レンタル店用は 149 億 6600 万円と 14.8%の大幅な減少となり、縮小傾向が続いている。販売用、特殊ルート、レンタル店用、業務用の売上金額における割合は、79.8 対 0.4 対 19.3 対 0.5 となり、レンタルの割合の減少により市場における販売用のシェアが拡大している。  
＜添付資料 表 4＞

3. DVD ビデオの販売用売上金額は 232 億 700 万円で前年同期比 80.5%と前年同期を大きく割り込んだが、ブルーレイの販売用は 387 億 2500 万円で同 99.6%とほぼ前年同期並みの実績となり、販売用全体に占めるブルーレイの割合は 62.5%となった。

<添付資料 表 5 A>

販売用全体の売上金額をジャンル別に見てみると、構成比 1 位の『音楽（邦楽）』（36.3%）は、前年同期に『嵐／ARASHI LIVE TOUR 2017-2018「untitled」』等のビッグタイトルがリリースされていたこともあり、前年同期比 75.5%と大きく下回った。また、構成比 2 位（25.3%）の『日本のアニメーション（一般向け）』も同 91.5%と伸び悩んだ。一方、大ヒット映画『ボヘミアン・ラブソディ』等がリリースされた構成比 3 位の『洋画（TV ドラマを除く）』（12.1%）は、前年同期比 121.7%と伸長した。構成比 4 位（6.1%）の『邦画（TV ドラマを除く）』は同 94.7%、構成比 5 位（同 6.0%）の『日本の TV ドラマ』においては、同 145.9%と大きく売上を伸ばした。

<添付資料 表 7 >

各ジャンルの売上金額におけるブルーレイの割合は、『日本のアニメーション（一般向け）』が 82.4%（前年同期は 82.2%）、『洋画（TV ドラマを除く）』は 77.4%（同 75.2%）、『邦画（TV ドラマを除く）』は 53.0%（同 49.3%）、『音楽（邦楽）』は 57.1%（同 48.3%）となり、主要ジャンルにおいてはブルーレイの構成比が過半となった。

4. DVD ビデオの販売用の売上金額は 232 億 700 万円で前年同期比 80.5%だった。

ジャンル別に見てみると、前年同期に構成比 53.5%を占めた『音楽（邦楽）』は、前年同期比 62.6%となり構成比 41.6%と大きくダウンした。また、構成比 2 位（11.9%）の『日本のアニメーション（一般向け）』が前年同期比 90.7%、構成比 4 位（7.6%）の『邦画（TV ドラマを除く）』が同 88.0%と伸び悩むなか、構成比 3 位（8.4%）『日本の TV ドラマ』が同 134.7%、4 位（7.3%）『洋画（TV ドラマを除く）』が同 110.7%と健闘した。

<添付資料 表 7 >

5. ブルーレイの販売用の売上金額は 387 億 2500 万円で前年同期比 99.6%とほぼ前年同期並みの実績だった。

ジャンル別に見てみると、構成比 3 位（15.0%）の『洋画（TV ドラマを除く）』が同 125.4%、構成比 4 位（5.1%）となった『邦画（TV ドラマを除く）』が同 101.6%、構成比 5 位（4.5%）の『日本の TV ドラマ』が同 160.9%と大きく売上げを伸ばした。しかし、構成比 1 位（33.3%）の『日本のアニメーション（一般向け）』は同 91.6%、構成比 2 位（33.2%）の『音楽（邦楽）』が同 89.2%と、合わせてシェア 66.5%を占める 2 ジャンルの低調が響き、全体では前年並みの実績にとどまった。

<添付資料 表 7 >

6. レンタル店用全体の総売上金額に占める DVD ビデオとブルーレイの構成比は、89.2 対 10.8 となりブルーレイの割合が 1 割を超えたが、相変わらず圧倒的に DVD ビデオが占めている。DVD のレンタル店用の売上金額は 133 億 4300 万円で前年同期比 84.0% と縮小傾向が続き、ブルーレイも 16 億 2300 万円で同 96.5% と前年同期には及ばなかった。

<添付資料 表 5 B>

7. レンタル店用全体の売上金額をジャンル別に見てみると、構成比 1 位 (23.8%) の『洋画 (TV ドラマを除く)』が前年同期比 86.9%、構成比 2 位 (20.3%) の『邦画 (TV ドラマを除く)』が同 95.6%、構成比 3 位 (17.5%) の『日本のアニメーション (一般向け)』が同 88.8%、構成比 4 位 (12.7%) の『アジアの TV ドラマ』が同 78.0% と、構成比 5 位 (7.3%) の『海外の TV ドラマ』が同 65.0% と主要ジャンルがいずれも前年同期を割り込んだ。ブルーレイの割合の高いジャンルは『洋画 (TV ドラマを除く)』で、金額で 24.6%、数量では 18.3% がブルーレイの売上で占めている。

<添付資料 表 8>

8. 売上金額を売上数量で割って単純に求めた 1 枚当たりの単価を見てみると、DVD ビデオの「販売用」の平均単価が 3,487 円で前年同期比 94.1% と下回ったが、ブルーレイの「販売用」は 5,797 円で同 103.1% と昨年から引き続き上昇。「レンタル店用」では DVD ビデオとブルーレイの両フォーマットともに前年同期より単価が下がった。

<添付資料 表 6>

以 上

## 追記

<本統計調査報告についての注意点>

- 本報告は、JVA 会員社が発売、販売する自社作品および他社作品の出荷段階の売上をまとめた統計である。
- 返品分は金額、数量とも調査時点において差し引いている。
- DVD とブルーレイのコンボ作品はブルーレイにカウントしている。
- 「日本の子供向け(アニメーション)」などにある“子供向け”とは、目安として 9 歳以下の子供を対象とした作品のこと。
- ブルーレイの売上には Ultra HD ブルーレイの売上を含む。
- 「特殊ルート」とは、雑誌やコミック、食玩などとして他商品に付帯されるものの売上のこと。